

但馬管内の景気動向調査

2021 年 1～3 月期実績・2021 年 4～6 月期見通し

【特別調査】新型コロナ感染拡大長期化の影響と

新常態（ニューノーマル）への対応について

調査の概要

1. 回答数: 463 (前回: 457)
 2. 調査時点 2021年3月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法: ディフュージョン・インデックス(D.I.)
景気の各項目事項について、「増加」(良い)－「減少」(悪い)の構成比の差＝
判断 D.I.に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫
から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

1. 概況（回答数463 前回457）

今回（2021年1～3期）の業況D.I.は△49.0、前四半期比11.7ポイントの悪化となり、全国がほぼ横ばいとなっている中、但馬管内では悪化となった。

売上額D.I.は△41.1、収益D.I.は△39.3といずれも厳しい水準で、前四半期比のマイナスも大きい。資金繰りD.I.は△25.6であり、資金繰りについても厳しい状況が窺える。

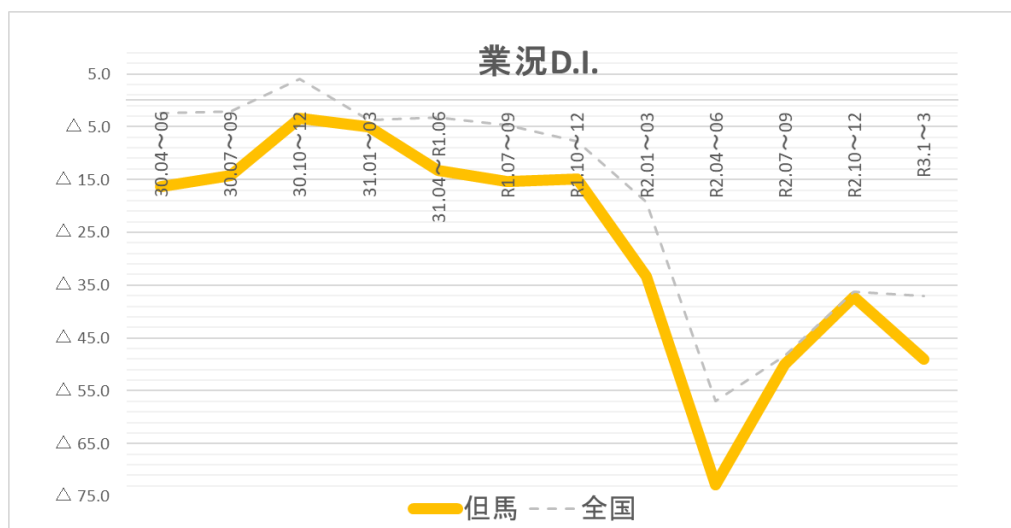
次回（2021年4～6月期）の業況D.I.は△44.5と、今回実績比4.5ポイントの小幅な改善が予想されている。

全体	2021年1～3月期実績	前四半期比	2021年4～6月期予想
業況D.I.	△ 49.0	△ 11.7	△ 44.5
前年同期比売上額D.I.	△ 49.3	△ 6.8	—
前年同期比収益D.I.	△ 46.5	△ 5.2	—
売上額D.I.	△ 41.1	△ 26.9	△ 31.7
収益D.I.	△ 39.3	△ 22.1	△ 32.2
資金繰りD.I.	△ 25.6	△ 3.9	△ 21.3
借入金の難易度D.I.	△ 8.4	△ 0.1	—
前期比残業時間D.I.	△ 17.1	△ 0.9	△ 16.7
人手過不足D.I.	△ 9.4	5.9	△ 9.8

業種名 \ 時 期	2020年 10月～12月	2021年 1月～3月	2021年 4月～6月(見通し)
総 合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

（この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。）

好調 ← → 低調



2. 製造業（回答数 90 前回 88）

今回（2021 年 1～3 期）の業況 D.I.は△45.6。前四半期比△2.4 と小幅な悪化であった。

販売価格 D.I.が△3.4 とほぼ横ばいの一方で、原材料価格 D.I.が 21.3 と仕入価格は上昇傾向であり、収益面に影響し、収益 D.I.が△46.1 となっている。

次回（2021 年 4～6 期）の業況 D.I.は△52.2 と悪化が続く見通し。小売業に次ぐ厳しい水準の予想となっている。

製造業	2021年1～3月期実績	前四半期比	2021年4～6月期予想
業況D.I.	△ 45.6	△ 2.4	△ 52.2
前年同期比売上額D.I.	△ 49.4	△ 1.7	-
前年同期比収益D.I.	△ 50.6	△ 4.0	-
売上額D.I.	△ 44.4	△ 28.4	△ 31.5
受注残D.I.	△ 38.2	△ 26.8	△ 30.3
収益D.I.	△ 46.1	△ 28.8	△ 37.1
販売価格D.I.	△ 3.4	△ 10.2	△ 2.2
原材料価格D.I.	21.3	△ 4.8	19.1
原材料在庫D.I.	△ 1.1	△ 12.5	0.0
資金繰りD.I.	△ 18.0	3.6	△ 20.2
借入金の難易度D.I.	△ 1.1	△ 3.5	-
前期比残業時間D.I.	△ 23.6	2.5	△ 19.1
人手過不足D.I.	△ 9.0	0.1	△ 7.9
現在の設備D.I.	△ 20.2	△ 7.7	-
設備投資D.I.	26.7	3.9	-
来期設備投資D.I.	30.0	0.5	-

3. 建設業（回答数 83 前回 88）

業況 D.I.が今回（2021 年 1～3 期）△14.6 となり、前四半期比で大きく改善。マイナス水準であるが、最も良い業種となった。

施工高 D.I.が前四半期比 21.8 ポイント改善。公共工事や住宅建築等、年度末までの完成に向けて施工が進められたことなどの要因が考えられる。人手過不足 D.I.△25.3 と、人手不足感があることも確認できる。

次回（2021 年 4～6 期）の業況 D.I.は△15.9 と、ほぼ横ばいの見通しとなっている。

建設業	2021年1～3月期実績	前四半期比	2021年4～6月期予想
業況D.I.	△ 14.6	20.7	△ 15.9
前年同期比売上額D.I.	△ 22.0	21.1	-
前年同期比収益D.I.	△ 14.6	27.2	-
売上額D.I.	△ 15.9	9.7	△ 19.5
受注残D.I.	△ 12.2	19.6	△ 24.4
施工高D.I.	△ 7.3	21.8	△ 11.0
収益D.I.	△ 8.5	20.5	△ 14.6
請負価格D.I.	△ 4.9	△ 0.2	△ 8.5
材料価格D.I.	8.5	△ 1.9	2.4
在庫D.I.	0.0	0.0	△ 2.4
資金繰りD.I.	△ 13.4	4.0	△ 6.1
借入金の難易度D.I.	△ 6.2	△ 1.4	-
前期比残業時間D.I.	△ 4.8	5.8	△ 4.8
人手過不足D.I.	△ 25.3	△ 9.6	△ 24.1
現在の設備D.I.	△ 13.3	△ 8.6	-
設備投資D.I.	27.7	△ 0.2	-
来期設備投資D.I.	31.3	△ 1.2	-

4. 卸売業（回答数 49 前回 52）

今回（2021 年 1～3 期）業況 D.I.は△59.2 と、前回予想 △63.5 より若干改善したが、依然として厳しい水準である。

前年同期比売上額 D.I.△59.2、前年同期比収益 D.I. △63.3 であり、前期と比較して落ち込みが大きい状況が窺える。資金繰り D.I.は△26.5 となり、前回同様に厳しいままである。

次回（2021 年 4～6 期）の業況 D.I.は△51.0 であり、大幅改善は見込まれていない。

卸売業	2021年1～3月期実績	前四半期比	2021年4～6月期予想
業況D.I.	△ 59.2	4.3	△ 51.0
前年同期比売上額D.I.	△ 59.2	4.3	-
前年同期比収益D.I.	△ 63.3	△ 1.7	-
前年同期比販売価格D.I.	△ 10.2	△ 10.2	-
売上額D.I.	△ 49.0	△ 29.7	△ 18.4
収益D.I.	△ 46.9	△ 25.8	△ 22.4
販売価格D.I.	△ 12.2	△ 10.3	△ 6.1
仕入価格D.I.	△ 2.0	△ 13.6	2.0
在庫D.I.	14.3	0.8	12.2
資金繰りD.I.	△ 26.5	2.3	△ 18.4
借入金の難易度D.I.	△ 8.5	11.1	-
前期比残業時間D.I.	△ 24.5	△ 3.3	△ 16.3
人手過不足D.I.	△ 10.4	6.9	△ 10.4
現在の設備D.I.	△ 20.4	△ 5.0	-
設備投資D.I.	38.8	13.8	-
来期設備投資D.I.	38.8	15.7	-

5. 小売業（回答数 75 前回 74）

今回（2021 年 1～3 期）の業況 D.I.は△63.5 となり、前四半期比△21.6 と大きく悪化し、最も厳しい業種であった。売上額 D.I.が△48.0 と厳しい水準であるが、販売価格 D.I.が 2.7 とほとんど変化がないことから、販売量の減少が大きいことが考えられる。また、借入金の難易度 D.I.が △23.0 となっており、他の業種と比較して借入の難易度は難しいと回答している企業が多い。

次回（2021 年 4～6 期）の業況 D.I.△60.0 に関しても、全業種中で最も厳しい水準となっている。

小売業	2021年1～3月期実績	前四半期比	2021年4～6月期予想
業況D.I.	△ 63.5	△ 21.6	△ 60.0
前年同期比売上額D.I.	△ 64.0	△ 16.1	-
前年同期比収益D.I.	△ 52.0	△ 6.8	-
前年同期比販売価格D.I.	△ 6.7	△ 3.9	-
売上額D.I.	△ 48.0	△ 39.9	△ 45.9
収益D.I.	△ 44.0	△ 27.8	△ 45.9
販売価格D.I.	2.7	1.3	0.0
仕入価格D.I.	9.3	△ 0.1	4.1
在庫D.I.	4.0	△ 2.8	0.0
資金繰りD.I.	△ 28.0	△ 6.4	△ 27.0
借入金の難易度D.I.	△ 23.0	△ 3.8	-
前期比残業時間D.I.	△ 16.0	0.2	△ 14.7
人手過不足D.I.	1.3	13.8	△ 2.7
現在の設備D.I.	△ 12.2	△ 5.4	-
設備投資D.I.	18.7	△ 15.1	-
来期設備投資D.I.	20.0	△ 8.4	-

6. 不動産業（回答数 14 前回 13）

今回（2021 年 1～3 期）業況 D.I.が△42.9 となり、前四半期比で小幅な改善となっているものの、前回予想△38.5 を下回る結果であった。

在庫 D.I.が△23.1 となっており、在庫は不足している傾向が見られる。また、借入金の難易度 D.I.が 14.3 となっており、借入については容易と感じている傾向も確認できる。

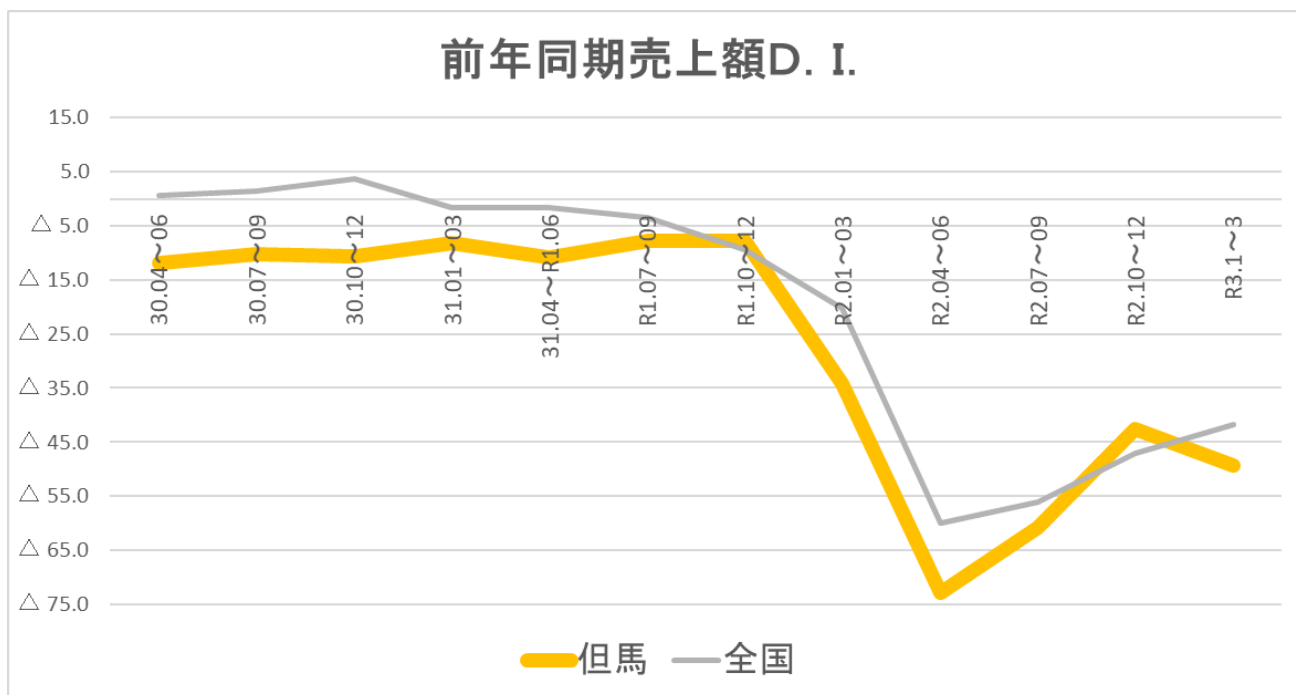
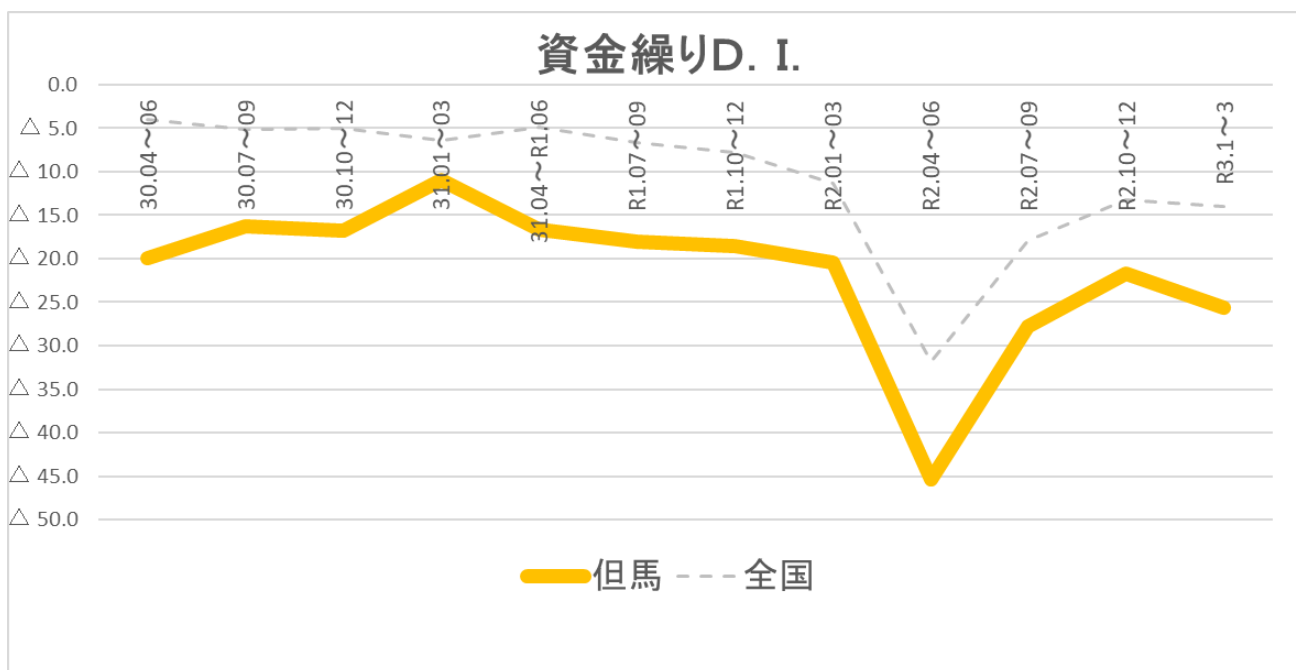
次回（2021 年 4～6 期）の業況 D.I.は△28.6 と依然としてマイナスにあるが、今回からの改善幅は大きい業種となっている。

不動産業	2021年1～3月期実績	前四半期比	2021年4～6月期予想
業況D.I.	△ 42.9	3.3	△ 28.6
前年同期比売上額D.I.	△ 28.6	2.2	-
前年同期比収益D.I.	△ 50.0	△ 26.9	-
売上額D.I.	△ 21.4	17.0	△ 14.3
収益D.I.	△ 35.7	2.7	△ 14.3
販売価格D.I.	△ 23.1	△ 7.7	△ 23.1
仕入価格D.I.	0.0	15.4	0.0
在庫D.I.	△ 23.1	1.9	△ 15.4
資金繰りD.I.	0.0	0.0	△ 7.1
借入金の難易度D.I.	14.3	6.0	-
前期比残業時間D.I.	0.0	30.8	0.0
人手過不足D.I.	0.0	15.4	7.7

7. サービス業（回答数 152 前回 144）

今回（2021 年 1～3 期）の業況 D.I.は△59.9 であった。前四半期比△37.6 であり、最も悪化が大きい業種となっている。サービス業には宿泊施設等、観光関連の企業が含まれており、GoToトラベル中止の影響も考えられる。前年同期比売上額△55.6、前年同期比収益 D.I.△53.0 となっており、前年と比較した悪化も顕著となっている。次回（2021 年 4～6 期）の資金繰り D.I.は△29.6 と厳しい水準となっており、業況 D.I.に関しても改善幅は小さい予想である。

サービス業	2021年1～3月期実績	前四半期比	2021年4～6月期予想
業況D.I.	△ 59.9	△ 37.6	△ 47.7
前年同期比売上額D.I.	△ 55.6	△ 25.8	-
前年同期比収益D.I.	△ 53.0	△ 22.9	-
売上額D.I.	△ 48.7	△ 43.1	△ 37.5
収益D.I.	△ 47.4	△ 40.4	△ 36.8
料金価格D.I.	△ 4.6	△ 15.7	△ 3.3
材料価格D.I.	2.0	△ 16.8	△ 0.7
資金繰りD.I.	△ 37.5	△ 13.9	△ 29.6
借入金の難易度D.I.	△ 8.8	△ 0.3	-
前期比残業時間D.I.	△ 19.7	△ 9.3	△ 24.3
人手過不足D.I.	△ 6.6	12.8	△ 7.9
現在の設備D.I.	△ 17.9	4.3	-
設備投資D.I.	18.4	△ 2.4	-
来期設備投資D.I.	22.4	2.2	-



業 種 別 D I 等 の 推 移 表

製 造 業	前年同期に比べた											前期比 残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
	業 況	売上額	収 益	売上額	受注残	収 益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り						
R1.10～12	△ 17.5	△ 19.0	△ 20.6	△ 11.1	△ 20.6	△ 15.9	6.3	33.3	6.3	△ 11.1	△ 12.7	△ 30.2	1.6	△ 17.5	33.3	
R2.01～03	△ 38.1	△ 47.6	△ 48.8	△ 48.8	△ 34.5	△ 45.2	1.2	26.2	2.4	△ 21.4	△ 16.7	△ 15.5	△ 6.0	△ 11.9	31.0	
R2.04～06	△ 75.3	△ 75.6	△ 76.7	△ 69.0	△ 65.1	△ 70.1	△ 11.5	△ 5.7	19.5	△ 42.5	△ 51.7	18.6	△ 5.7	△ 3.5	31.0	
R2.07～09	△ 72.2	△ 72.5	△ 71.4	△ 48.4	△ 47.8	△ 46.2	△ 2.2	8.8	13.2	△ 34.1	△ 45.1	5.6	1.1	△ 2.2	22.0	
R2.10～12	△ 43.2	△ 47.7	△ 46.6	△ 16.1	△ 11.4	△ 17.2	6.8	26.1	11.4	△ 21.6	△ 26.1	△ 9.1	2.3	△ 12.5	22.7	
R3.1～3	△ 45.6	△ 49.4	△ 50.6	△ 44.4	△ 38.2	△ 46.1	△ 3.4	21.3	△ 1.1	△ 18.0	△ 23.6	△ 9.0	△ 1.1	△ 20.2	26.7	
R3.4～6	△ 52.2															

建 設 業	業 況	前年同期に比べた										前期比 残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
		売上額	収 益	売上額	受注残	施行高	収 益	請負価格	材料価格	在 庫	資金繰り					
R1.10～12	6.8	11.0	△ 5.5	△ 1.4	1.4	0.0	1.4	1.4	20.5	△ 4.1	△ 16.4	8.2	△ 40.8	△ 12.7	△ 11.0	26.0
R2.01～03	△ 7.1	△ 14.1	△ 17.6	△ 2.4	△ 5.9	1.2	△ 7.1	△ 7.1	15.3	△ 3.6	△ 12.9	1.2	△ 21.4	△ 12.2	△ 7.1	23.5
R2.04～06	△ 55.1	△ 53.9	△ 51.7	△ 50.6	△ 52.8	△ 38.2	△ 42.7	△ 15.7	11.2	△ 6.7	△ 25.8	△ 24.7	△ 15.7	△ 2.3	△ 6.7	19.1
R2.07～09	△ 29.2	△ 38.5	△ 38.5	△ 24.0	△ 25.0	△ 19.8	△ 29.2	△ 13.5	15.6	1.0	△ 12.5	△ 14.7	△ 16.8	△ 6.3	△ 4.2	26.0
R2.10～12	△ 35.3	△ 43.0	△ 41.9	△ 25.6	△ 31.8	△ 29.1	△ 29.1	△ 4.7	10.5	0.0	△ 17.4	△ 10.6	△ 15.7	△ 4.8	△ 4.7	27.9
R3.1～3	△ 14.6	△ 22.0	△ 14.6	△ 15.9	△ 12.2	△ 7.3	△ 8.5	△ 4.9	8.5	0.0	△ 13.4	△ 4.8	△ 25.3	△ 6.2	△ 13.3	27.7
R3.4～6	△ 15.9															

卸 売 業	業 況	前年同期に比べた			売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	前期比 残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
		売上額	収 益	売上額											
R1.10～12	△ 30.0	△ 30.0	△ 27.5	27.5	10.0	7.5	35.0	25.0	15.0	△ 27.5	△ 2.5	△ 32.5	△ 17.9	△ 10.3	32.5
R2.01～03	△ 38.3	△ 39.1	△ 34.8	10.9	△ 40.4	△ 40.4	2.1	10.6	6.4	△ 23.4	△ 14.9	△ 17.0	△ 20.5	△ 15.2	25.5
R2.04～06	△ 78.3	△ 82.6	△ 73.9	△ 13.0	△ 69.6	△ 69.6	△ 15.2	△ 6.5	△ 0.0	△ 41.3	△ 41.3	△ 0.0	△ 17.4	△ 6.8	17.4
R2.07～09	△ 54.0	△ 80.0	△ 76.0	△ 6.0	△ 28.0	△ 34.0	0.0	4.0	24.0	△ 20.4	△ 36.0	△ 4.0	△ 18.4	△ 10.0	26.0
R2.10～12	△ 63.5	△ 63.5	△ 61.5	0.0	△ 19.2	△ 21.2	△ 1.9	11.5	13.5	△ 28.8	△ 21.2	△ 17.3	△ 19.6	△ 15.4	25.0
R3.1～3	△ 59.2	△ 59.2	△ 63.3	△ 10.2	△ 49.0	△ 46.9	△ 12.2	△ 2.0	14.3	△ 26.5	△ 24.5	△ 10.4	△ 8.5	△ 20.4	38.8
R3.4～6	△ 51.0														

小 売 業	業 況	前年同期に比べた			売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	前期比 残業時間	人 手	借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
		売上額	収 益	売上額											
R1.10～12	△ 30.0	△ 12.0	△ 24.0	18.0	6.0	△ 8.0	16.0	30.0	4.0	△ 32.0	△ 2.0	△ 22.4	△ 26.0	△ 12.0	24.0
R2.01～03	△ 36.2	△ 31.0	△ 24.1	6.9	△ 34.5	△ 29.3	0.0	8.6	△ 3.4	△ 31.0	△ 5.2	△ 5.2	△ 22.8	△ 5.2	27.6
R2.04～06	△ 76.1	△ 77.6	△ 71.6	△ 16.4	△ 74.6	△ 74.6	△ 23.9	△ 11.9	14.9	△ 55.2	△ 34.3	3.1	△ 19.4	△ 3.0	23.9
R2.07～09	△ 53.9	△ 67.5	△ 57.9	△ 10.4	△ 27.3	△ 28.6	△ 2.6	0.0	3.9	△ 29.9	△ 20.8	1.3	△ 18.7	△ 2.6	10.4
R2.10～12	△ 41.9	△ 47.9	△ 45.2	△ 2.7	△ 8.1	△ 16.2	1.4	9.5	6.8	△ 21.6	△ 16.2	△ 12.5	△ 19.2	△ 6.8	33.8
R3.1～3	△ 63.5	△ 64.0	△ 52.0	△ 6.7	△ 48.0	△ 44.0	2.7	9.3	4.0	△ 28.0	△ 16.0	1.3	△ 23.0	△ 12.2	18.7
R3.4～6	△ 60.0														

サービス業	業 況	前年同期に比べた										借入金の 難 易 度	現 在 の 設 備	設備投資 実施割合
		売上額	収 益	売上額	収 益	料金価格	材料価格	資金繰り	前期 比 残業時間	人 手				
R1.10～12	△ 16.0	△ 4.0	△ 9.7	3.2	0.8	16.0	24.8	△ 16.8	4.0	△ 40.8	△ 16.4	△ 20.2	29.6	
R2.01～03	△ 46.4	△ 40.0	△ 39.2	△ 24.0	△ 27.2	2.4	7.2	△ 20.8	△ 12.8	△ 13.6	△ 7.3	△ 15.3	22.4	
R2.04～06	△ 81.6	△ 80.3	△ 79.6	△ 83.2	△ 82.5	△ 13.9	△ 5.8	△ 58.4	△ 48.2	6.7	△ 7.4	△ 19.9	12.4	
R2.07～09	△ 47.8	△ 59.4	△ 59.2	△ 13.8	△ 15.0	3.1	6.3	△ 35.0	△ 20.6	△ 5.6	△ 7.7	△ 14.4	23.1	
R2.10～12	△ 22.2	△ 29.9	△ 30.1	△ 5.6	△ 7.0	11.1	18.8	△ 23.6	△ 10.4	△ 19.4	△ 8.5	△ 22.2	20.8	
R3.1～3	△ 59.9	△ 55.6	△ 53.0	△ 48.7	△ 47.4	△ 4.6	2.0	△ 37.5	△ 19.7	△ 6.6	△ 8.8	△ 17.9	18.4	
R3.4～6	△ 47.7													

不動産業	業 況	前年同期に比べた			売上額	収 益	販売価格	仕入価格	在 庫	資金繰り	前期比 残業時間	人 手	借入金の 難 易 度
		売上額	収 益	売上額									
R1.10～12	△ 9.1	△ 10.0	△ 10.0	△ 18.2	△ 18.2	0.0	△ 9.1	△ 9.1	0.0	△ 9.1	△ 9.1	△ 18.2	10.0
R2.01～03	△ 16.7	△ 16.7	△ 33.3	△ 8.3	△ 8.3	△ 18.2	△ 9.1	0.0	0.0	0.0	△ 16.7	0.0	0.0
R2.04～06	△ 40.0	△ 40.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 33.3	0.0	△ 44.4	△ 20.0	△ 50.0	△ 20.0	0.0	0.0
R2.07～09	△ 38.5	△ 46.2	△ 58.3	△ 46.2	△ 38.5	△ 8.3	△ 8.3	△ 33.3	△ 23.1	△ 30.8	0.0	7.7	7.7
R2.10～12	△ 46.2	△ 30.8	△ 23.1	△ 38.5	△ 38.5	△ 15.4	△ 15.4	△ 25.0	0.0	△ 30.8	△ 15.4	8.3	8.3
R3.1～3	△ 42.9	△ 28.6	△ 50.0	△ 21.4	△ 35.7	△ 23.1	0.0	△ 23.1	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
R3.4～6	△ 28.6												

全 業 種	業 況	前年同期に比べた			売上額	収 益	資金繰り	前期比 残業時間	人 手	借入金 の 難 易 度
		売上額	収 益	売上額						
30.04～06	△ 16.4	△ 11.9	△ 16.9	△ 17.4	△ 15.8	△ 20.0	△ 1.0	△ 31.9	△ 4.0	
30.07～09	△ 14.2	△ 10.2	△ 12.7	△ 4.1	△ 3.0	△ 16.2	△ 0.5	△ 25.2	△ 8.9	
30.10～12	△ 3.4	△ 10.7	△ 14.4	13.4	6.2	△ 16.8	6.9	△ 29.9	△ 8.2	
31.01～03	△ 5.0	△ 8.2	△ 6.7	△ 7.9	△ 9.2	△ 10.9	△ 1.7	△ 32.9	△ 5.3	
31.04～R1.06	△ 13.2	△ 10.8	△ 10.6	△ 7.9	△ 13.7	△ 16.6	△ 7.1	△ 21.9	△ 8.6	
R1.07～09	△ 15.3	△ 7.8	△ 11.2	△ 3.7	△ 8.7	△ 18.0	△ 3.9	△ 27.5	△ 8.5	
R1.10～12	△ 14.9	△ 7.8	△ 14.7	0.3	△ 3.0	△ 18.5	0.0	△ 34.8	△ 13.2	
R2.01～03	△ 33.3	△ 34.1	△ 33.9	△ 27.5	△ 28.0	△ 20.4	△ 9.5	△ 14.9	△ 11.4	
R2.04～06	△ 72.7	△ 72.9	△ 70.8	△ 70.2	△ 68.6	△ 45.4	△ 41.3	2.6	△ 8.8	
R2.07～09	△ 50.0	△ 60.8	△ 58.9	△ 26.7	△ 28.3	△ 27.8	△ 25.9	△ 4.3	△ 8.1	
R2.10～12	△ 37.3	△ 42.5	△ 41.3	△ 14.3	△ 17.1	△ 21.7	△ 16.2	△ 15.3	△ 8.3	
R3.1～3	△ 49.0	△ 49.3	△ 46.5	△ 41.1	△ 39.3	△ 25.6	△ 17.1	△ 9.4	△ 8.4	
R3.4～6	△ 44.5									

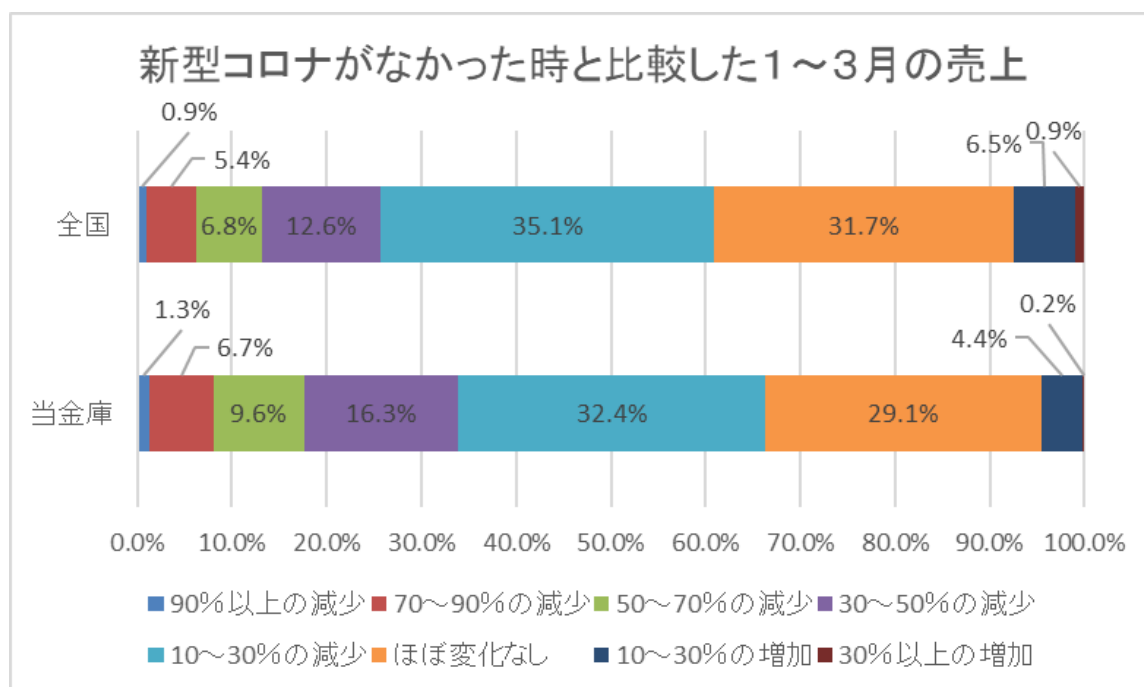
全国	業 況	前年同期に比べた			売上額	収 益	資金繰り	人 手
		売上額	収 益	売上額				
30.04～06	△ 2.5	0.7	△ 4.0	△ 4.0	△ 26.0			
30.07～09	△ 2.1	1.5	△ 3.1	△ 5.1	△ 26.0			
30.10～12	4.0	3.6	△ 1.1	△ 5.0	△ 29.9			
31.01～03	△ 3.7	△ 1.6	△ 5.5	△ 6.4	△ 28.9			
31.04～R1.06	△ 3.3	△ 1.7	△ 4.7	△ 4.9	△ 27.4			
R1.07～09	△ 4.7	△ 3.5	△ 6.1	△ 6.7	△ 27.0			
R1.10～12	△ 7.8	△ 9.4	△ 11.9	△ 7.8	△ 27.4			
R2.01～03	△ 19.3	△ 20.3	△ 20.9	△ 11.3	△ 22.7			
R2.04～06	△ 56.9	△ 59.9	△ 58.9	△ 31.8	△ 2.0			
R2.07～09	△ 48.3	△ 56.1	△ 54.6	△ 17.9	△ 7.2			
R2.10～12	△ 36.2	△ 47.0	△ 44.9	△ 13.2	△ 13.3			
R3.1～3	△ 37.1	△ 41.7	△ 40.1	△ 14.0	△ 12.1			
R3.4～6	△ 35.3							

《特別調査》新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常態（ニューノーマル）への対応について

【問 1】 例年と比較しての売上の変化

「50%以上減少」との回答が、全国 13.2%に対して当金庫内が 17.6%と当金庫内のほうが割合が高かった。「10%以上 50%未満減少」の回答についても、全国 47.7%のところ当金庫内は 48.7%であり、当金庫内のほうが減少している傾向があった。

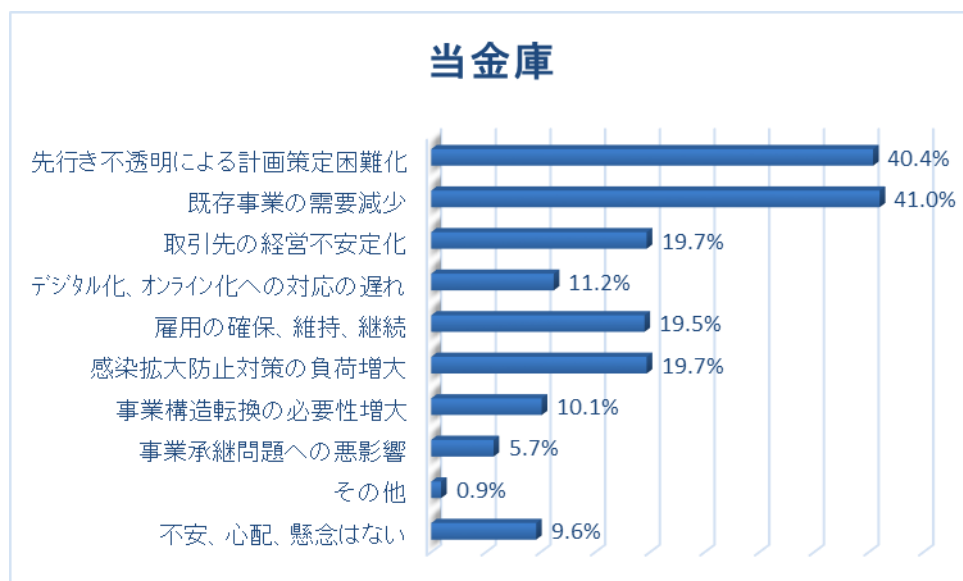
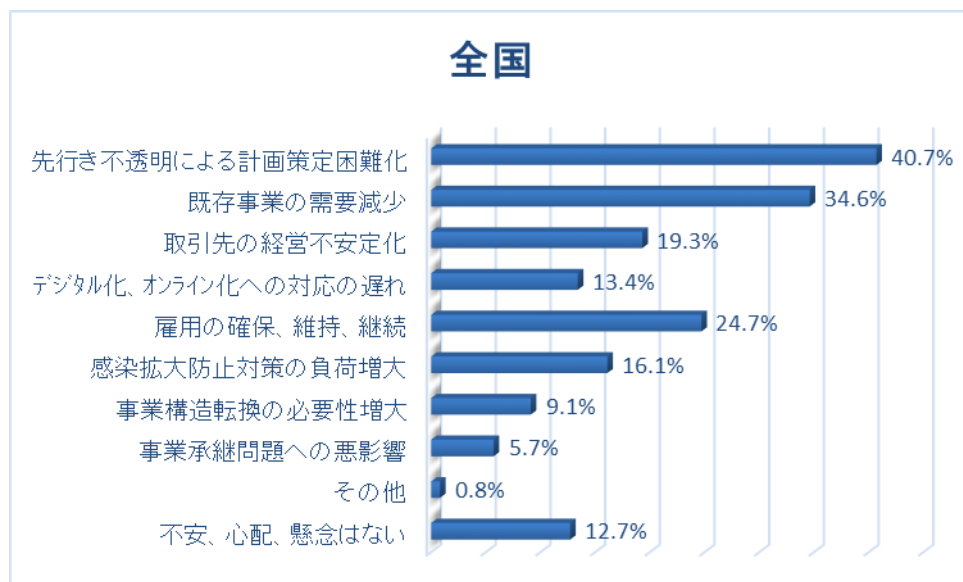
全国・当金庫内ともに「減少」が過半数を超えている厳しい結果であった。



	当金庫	全国
90%以上の減少	1.3%	0.9%
70～90%の減少	6.7%	5.4%
50～70%の減少	9.6%	6.8%
小計(50%以上減少)	17.6%	13.2%
30～50%の減少	16.3%	12.6%
10～30%の減少	32.4%	35.1%
小計(10%以上50%未満減少)	48.7%	47.7%
ほぼ変化なし	29.1%	31.7%
10～30%の増加	4.4%	6.5%
30%以上の増加	0.2%	0.9%

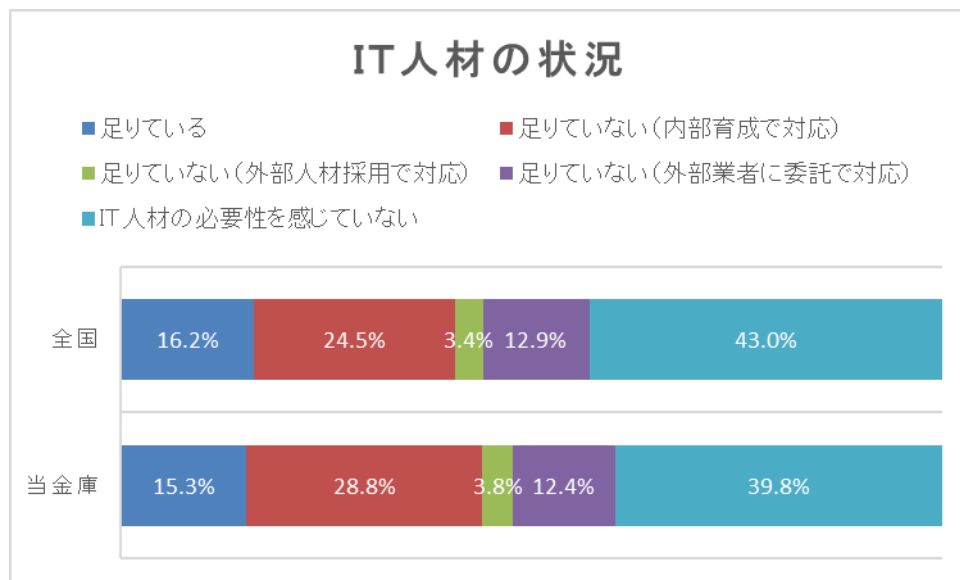
【問2】新常態へ移行していくなかでの事業継続上の不安

経済社会全体が新常態（ニューノーマル）へ移行していくなかでの事業継続上の不安については、全国・当金庫内ともに「先行き不透明による計画策定困難化」「既存事業の需要減少」が大半を占めている。当金庫内の傾向としては、「既存事業の需要減少」や「感染拡大防止対策の負荷増大」について全国より不安が大きいことが見られる。

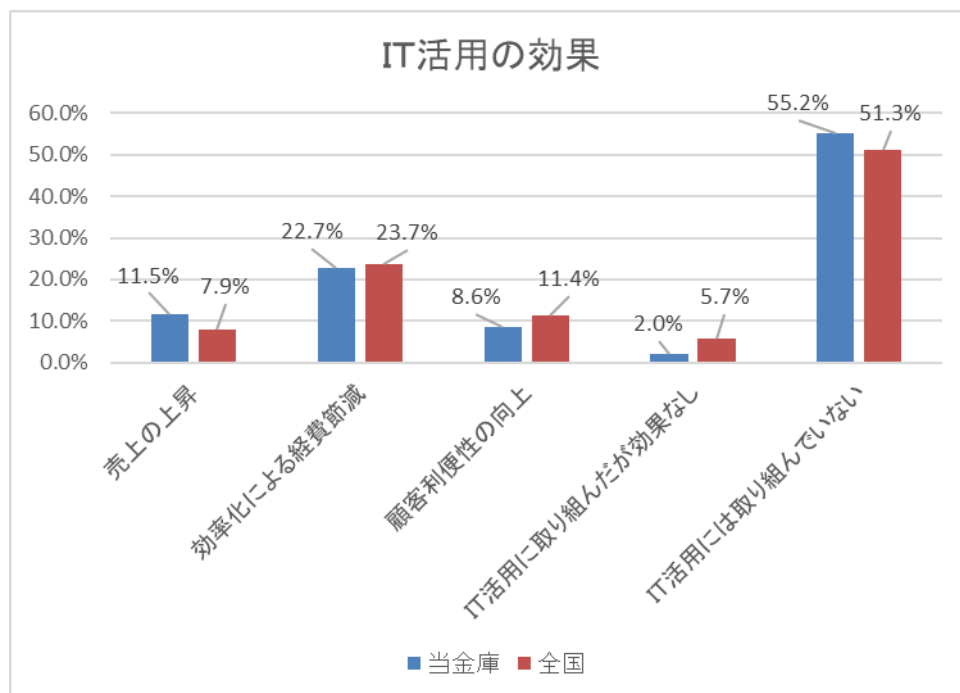


【問3】IT人材の状況とIT活用の効果

IT人材について、全国・当金庫内ともに「足りていない」と回答する企業が多い。一方でIT人材の必要性を感じていない企業も多いことが確認できる。また、「足りていない」と回答した企業の中では、内部で育成するとの回答が多い状況であった。

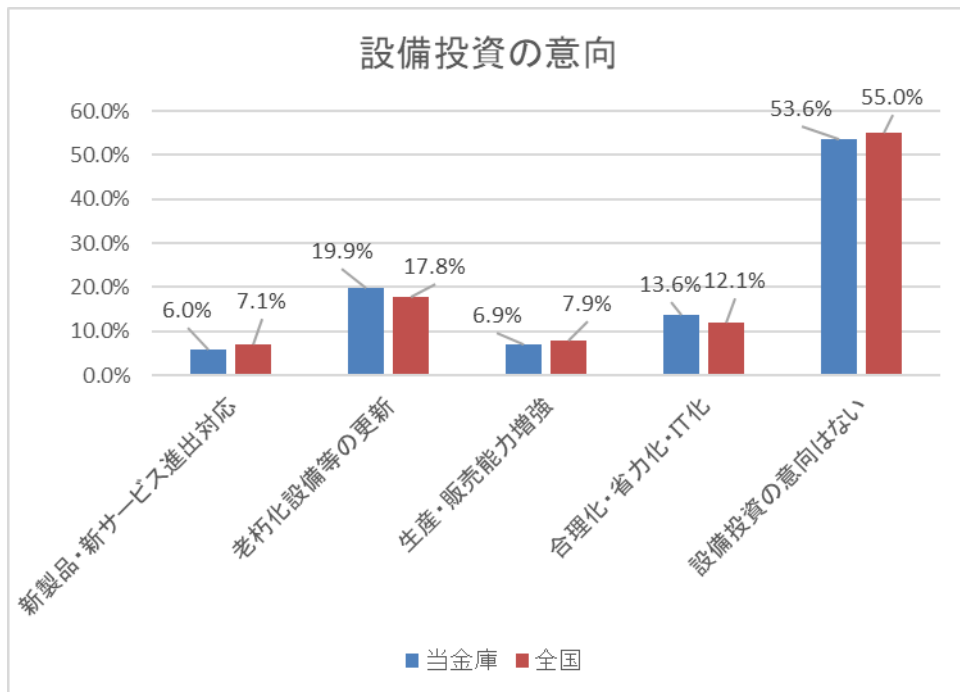


IT活用の効果に関しては、全国・当金庫内は同様の傾向であり、「効率化による経費節減」の回答が多かった。但し、「IT活用には取り組んでいない」企業が過半数以上であり、IT化への対応はあまり進んでいないことが窺える。

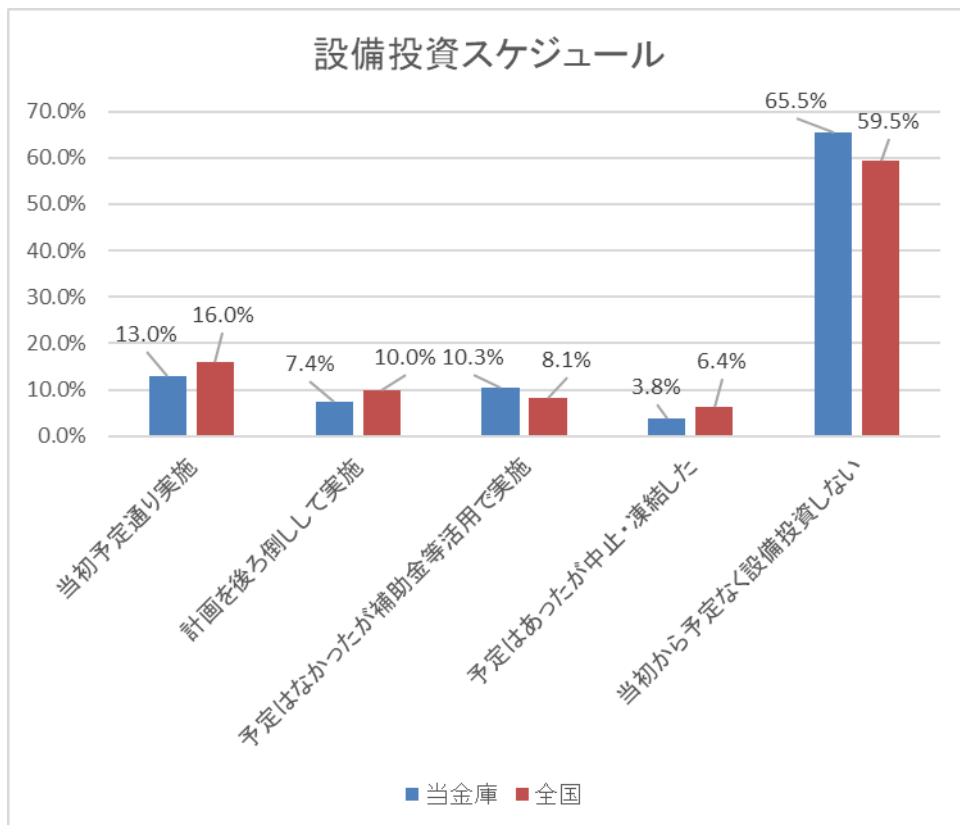


【問4】設備投資の意向とスケジュール

投資目的については「老朽化設備等の更新」の回答が多く、「合理化・省力化・IT化」と続いた。但し、全国・当金庫内とも「設備投資の意向はない」との回答が最も多かった。



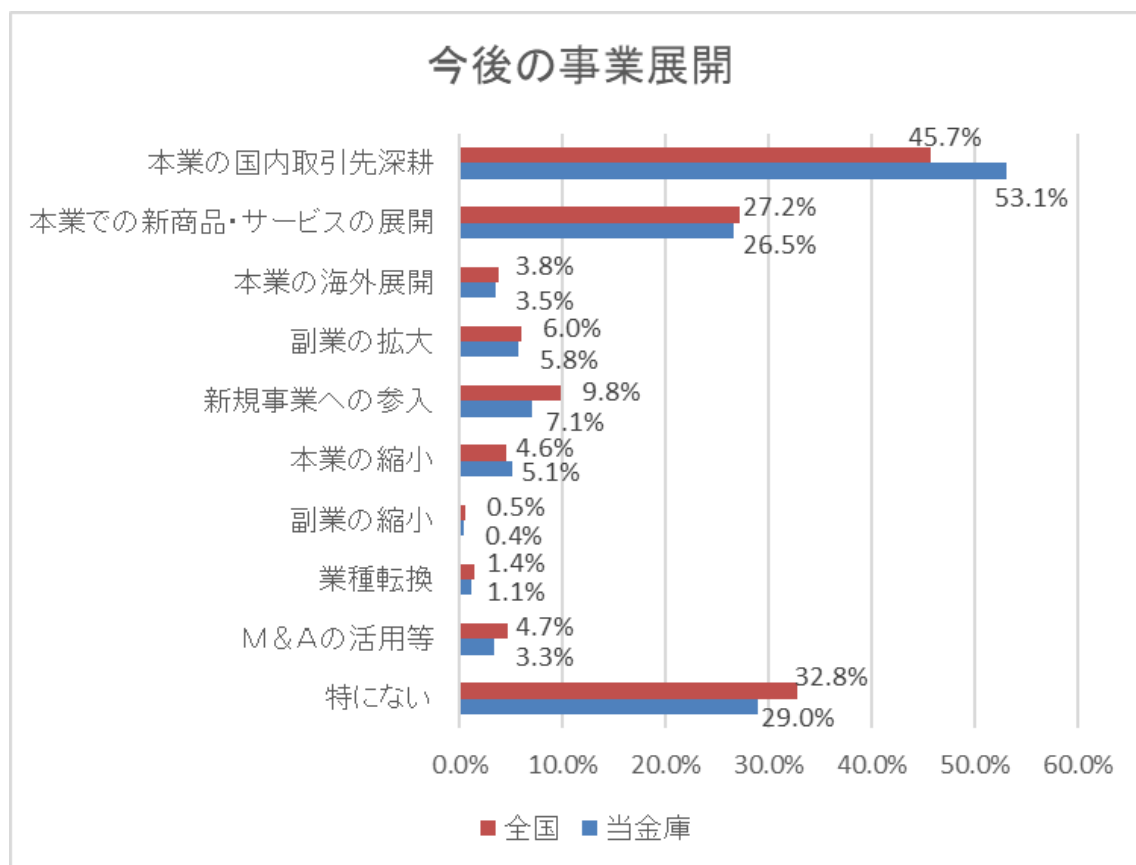
設備投資スケジュールに関しては、「当初から予定なく設備投資しない」企業が、全国・当金庫内のいずれも6割程度となっている。「補助金等活用で実施」の企業が1割程度あり、補助金等施策について一定の効果があるものと考えられる。



【問5】 今後想定される事業展開の実施または検討

今後の事業展開に関しては、「本業の国内取引先深耕」が全国・当金庫内ともに最も多い回答であった。全国と当金庫内を比べると、当金庫内のほうがやや割合が高かった。

また、「本業の国内取引先深耕」に次ぐ回答は、「本業での新商品・サービスの展開」であり、本業を基軸とした事業展開を行っていく企業が多いことが窺えた。



以 上

参考文献 信金中央金庫 地域・中小企業研究所「第 183 回全国中小企業景気動向調査」